

交推協第104号
平成30年12月26日

大分県交通安全推進協議会各委員 殿

大分県交通安全推進協議会長
大分県知事 広瀬 勝貞

全ての座席におけるシートベルト着用の定着化について（依頼）

平素から交通安全をはじめ、各般にわたり多大なる御支援と御協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、本年10月に一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という。）と警察庁が合同で実施したシートベルト着用状況全国調査の結果、本県の運転席及び助手席の着用率はいずれも一般道で90%台、高速道路等で100%でしたが、後部座席の着用率は一般道路で21.4%（前年比-2.1ポイント）、高速道路等で72.8%（同-12.8ポイント）といずれも前年から低下し、全国平均も下回る結果となりました。

シートベルトの着用は、交通事故における人的被害を軽減させ、交通死亡事故の抑止に大きく寄与することから、全ての座席におけるシートベルトの着用を徹底するため、広報活動や街頭啓発活動の展開等、ご配慮をお願いします。

なお、全ての座席におけるシートベルト着用徹底に関する資料を添付しますので、御活用ください。

事務局

大分県生活環境部生活環境企画課
交通安全推進班 担当：伊東 恵介
TEL：097-506-3062
FAX：097-506-1741